

# 日本人口学会第70回大会 公開シンポジウム

## 生きることと幸せ

生と幸の関係を、生物学的に、  
実証的に、歴史的に、  
そして人口学的に考える

6月2日(土) 15:30~18:30  
明海大学 2206講義室

【定員】100名(先着順)

【参加費】無料

【申込方法】メールにてお申し込み下さい。

- ・宛先: 影山純二 (kagejun@meikai.ac.jp)
- ・氏名、性別、年齢をご記載下さい。
- ・携帯メールは、PCからのメールを受信できるように設定下さい。

【問合せ先】明海大学経済学部 影山純二  
(kagejun@meikai.ac.jp)

【主催】日本人口学会

【後援】浦安市教育委員会

【協力】明海大学

## 内容

進化から見た「生」と「死」の役割

- 大泉嶺 (国立社会保障人口問題研究所主任研究官) -

「生きること」の意味と「幸せ」:

不満のライフ・ヒストリー

- 影山純二 (明海大学教授) -

「幸せ」の格差: 専業主婦 vs 働く妻、

夫よりも学歴の高い妻 vs 夫よりも学歴の低い妻

- 佐藤一磨 (拓殖大学准教授) -

人口の歴史が語る「生きることと幸せ」?!:

究極のパネルデータに見る前近代庶民のライフコース

- 黒須里美 (麗澤大学教授) -

## Discussion

- 総合司会: 寺村絵里子 (明海大学准教授) -

